

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)		廃棄物政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 3 3 6 (直通)		
開催日時		令和 5 年 1 0 月 6 日 (金) 1 4 時 0 0 分 ~ 1 5 時 4 0 分		
開催場所		総合学習センター 2 階 セミナールーム		
出席者	委員	1 4 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	1 9 人 (脱炭素社会・資源循環推進担当部長、廃棄物政策課長 他 1 7 人)		
公開の可否		可	不可	一部不可
公開不可・一部不可の場合は、その理由		傍聴者数 0 人		
議 題		<p>1 開会</p> <p>2 職務代理者の選任について</p> <p>3 議題 ( 1 ) 第 3 次相模原市一般廃棄物処理基本計画の改定について ア 答申(案)について イ 相模原市一般廃棄物処理基本計画(改定)(案)について</p> <p>4 報告 ( 1 ) スプレー缶排出方法の変更について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>		

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

定足数の確認の上、開会した。

### 2 職務代理者の選任について

相模原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等の推進に関する条例第57条第1項に基づく会長の指名により、藤倉まなみ委員に決定した。

### 3 議題

竹田会長の進行により議事が進められた。

#### (1) 第3次相模原市一般廃棄物処理基本計画の改定について

##### ア 答申(案)

事務局から説明を行った。

##### 【質疑事項】

(松平委員) 学校給食で発生する残さの一部を飼料化することについて、給食センターに勤務していた頃、教員の勤務時間が17時までになったときに各学校は給食の時間を短縮した。食べる時間が足りなくなれば、食べ残しは発生しやすくなると思われる。発生した残さは飼料化すれば良いのではなく、給食残さが出ない工夫を調整するように意見として述べておく。

##### イ 相模原市一般廃棄物処理基本計画(改定)(案)について

事務局から説明を行った。

##### 【質疑事項】

(藤倉委員) 答申案と計画改定案の関係を確認したい。審議会は、市長から基本計画の改定について諮問を受け検討を行い改定にあたっての考え方を答申するもので、基本計画は、その答申を受けた行政が作ったものとの認識で良いか。審議会は、答申案にどこまで責任を持つのか確認したい。

(事務局) 答申の方法もいくつかあると思うが、審議会から答申書を市長にお渡しする。行政は答申を受けて、計画改定案を庁議に諮り、議会の部会

において説明し、パブリックコメントを実施した後、審議会において確認いただき、3月中に公表を予定している。

(藤倉委員) 会長から市長にお渡しするのは答申書だけであり、改定する基本計画案は付いていないという理解で良いか。

(事務局) そのとおりである。

(藤倉委員) 審議会は、この答申書に責任を持ち、行政はそれを受けて計画改定案を真摯に作っていただくものと思う。

答申書の改定に当たって特に留意が必要な事項では、戸別収集の導入について、速やかに検討を進めるべきであると書いている。これが、計画改定案では、安定的な収集運搬体制を継続できるように在り方を検討しますと、戸別収集を検討するとは書いていない。行政の取組にも効率的な収集運搬体制の検討としか書いていない。答申した皆さんの思いが正確に反映されていないと思われる、大事なことはしっかり出していただくことが必要である。最終処分場の情報をしっかり市民に共有して欲しいという声も、一行で書かれ、熱量が不足している感じがする。

また、市民の皆さんにもきちんとやっていただいた方が良いと思うので、市民もてまえどりをやるなど、少し具体的なことも盛り込んで良い。市民の取組に書くのが難しいのであれば、文章でも良いが、今回の改定ではもう少し追加しても良いと思う。

(事務局) ご意見をいただいたので、リード文の追加や修正等を考えたい。

(中島委員) 有料化は喫緊の課題として検討いただきたいというのは、スピード感をもってやっていただきたいという趣旨である。答申の内容を、しっかり受けとめて、計画を考えていただきたい。

(事務局) 市民ニーズに対応したごみ収集の検討、それから家庭から排出される一般ごみの有料化の検討については、令和6年度から具体的かつ速やかに検討を開始したいと考えている。

現時点で、いつから実施するということは、申し上げる段階ではないが、本市に適した収集体制のあり方や有料化も、大変大きな課題であり、令和9年度までの間で調査・検討としている。有料化は、具体的に情報収集を行い、必要経費等の調査を進めた上で、庁内や審議会にご意見をいただきたいと考えている。

(堀川委員) 以前から有料化は、調査や検討が続けられている。この計画では令和9年度まで調査・検討だが、いつ頃から始める見込みなのか。

(事務局) 来年度から検討を進めるとしているが、現時点で、いつから始めると

いう具体的なことは申し上げられない。引き続き、他自治体への調査等の情報収集を行い、市民ニーズの把握や庁内、審議会にご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

(中島委員) 有料化は、相模原市でも20年ほど前に検討しており、大分時間が経ってもその間も調査・検討になっている。その調査・検討の結果を説明していただきたい。その上で、早くやってもらいたいという要望を出しているので、今後のことを具体的に示していただきたい。

それから、麻溝地区は次期最終処分場の候補地になっているが、ごみの減量をやっていただかないと、どこに処分場を造るにしても、地域としては受け入れられないとの話になっている。

ごみの有料化をすると、ごみは減ることは間違いのないから、なぜやらないのかという話になる。有料化を行い、できる手段はすべてやって、ごみを減らし、その上で最終処分場が必要ということであれば、検討の余地もある。それが無く、ただ満杯になったから次を造らせてくれでは通らない。その辺もよく考えて、ごみ有料化による減量をスピード感をもって考えていただきたい。

(松平委員) 私もごみの有料化の経験があるので、お話したい。

生活していて、ごみは無料で収集して、清掃工場で安定した処理をして、最終処分場も喫緊に埋まるわけではないというのは、市民に困ったという感覚がない。そこが詰まらないと、家庭ごみの減量化は、なかなか達成できない。

私も家庭ごみの有料化案をいきなり出して、議会も色々な立場の方がいるから話がまとまらず、議会で審議未了となり廃案となった。理由は、有料化する前にできることがある、市は何もやっていないというのが、議会の考え方であった。

そのため、まず全自治会に集団回収をやってもらうため、全自治会に説明した。あと、すべてのスーパーで店頭回収をするようお願いした。店頭回収を開始していただいたスーパーには、将来家庭ごみの有料化の時、袋を売っていただくようなことも約束した。有料化する前にできること、市がマイバックを作るとか、手選別している生々しい写真を市民に示すとか。今日、プラスチックごみにペットボトル、蓋つきのものやラベル付きのものが混入しているのを見たが、それを手選別していることを市民は知らないから、平気で混ぜて出している。切迫感がないし、そういうことを市民にアピールしていない中、家庭ごみの有料化は難しいと思う。

まずは戸別収集である。戸別収集は、1軒ごとに車を停めて載せてはいない。人が降り10軒先ぐらいに車を停めて、指10本を使い1個1個のごみ袋を指全部に引っかけて持ち運ぶ。だから収集経費は増えない、戸別収集であればお金はかからない、やり方が変わるだけである。それから自分の家の前に出すので、紙とかペットボトル、プラスチックの混入等は、近所に見られるから恥ずかしいからごみが減る。まず戸別収集を考えることから始めたほうが良い。有料化は最後の手段と思う。とにかく市民の意識を変えて、ごみを自分の家の前に出せば、分別を徹底するし、近所の人にも言われる。ぜひ、ご検討いただけたらと思う。

(栗岡委員) 今の発言にプラスして、有料化は、やはり市民にとって辛いものがあるので、プラスチックの一括回収も同時に進めると、プラスチックは分別すれば無料だが、ごみにすると有料という、分別するインセンティブが働くので、プラスチック一括回収も同時に検討するべきと思う。

(中島委員) 先ほど戸別収集の方を先にとという話もあったが、戸別収集には経費の問題等があり、有料化と一緒に認識していた。その上で、戸別収集には様々な課題があり、難しい話も出ているので、有料化により市民の意識を変えることが、先にやるべきと考えている。そこは普通行政が提案するもので、市民がその前にまだやることのあるのではないかと反対するなら分かる。今回、最終処分場の絡みもあるが、地域から有料化してくれと言ってる。そこが重要なことだと思う。

(大河内委員) 例えば、ごみ収集体制の検討等が、何故、先送りされているように感じるのかなと思うと、進行管理で、実施可能と判断した場合は、開始時期を決定し実施、と書かれているものがある。それがあつたものとなつたものがあり、今はないものに対して、しっかり検討してくださいというご意見が出ているので、実施可能と判断したら、実施に進むものを精査いただき、できるものは全部付けていただくのが良いので、ご検討いただきたい。

(事務局) 注意書きがあるものは、今までなかなか着手できなかったことを、より実現に向けて、実施していこうということである。

ただし、戸別収集や有料化については、大変大きな話なので、なかなかこの時点から開始ということを書くことができない。答申や皆様のご意見等については、そういうことを踏まえ、しっかりと検討を進めたい。今こういった中でも、有料化は反対、有料化は賛成、戸別収集を先にやるべき、様々なご意見があると思う。また、72万人の市民

があり、地域や自治会により、様々なご意見があると思うので、有料化と市民ニーズに対応したごみの収集については、注意書きはないが、改めて整理したい。

(松平委員) 計画改定案はまだ議論する時間はあるのか。

(事務局) これから庁議に諮り、議会にも報告するので、先ほどのご意見等は、事務局で検討の上、追加等させていただきたい。また、パブリックコメントでは、ご意見を頂くこともあると思うので、2月頃に審議会を開催することを考えている。

(中島委員) 計画改定案は市が作成したものだが、中には答申や審議会の委員名簿が載っている。市民にとって、審議会の委員も一緒に計画改定を作ったものと思われるから、答申の内容と計画改定案の内容に齟齬があると、名前を載せることが良いのかと思うので、考えていただきたい。

(竹田会長) 今日色々と意見をもらい、それを踏まえて計画改定案を作り、パブリックコメントで市民の意見を反映させ、最終的に完成させたいとのことである。大きく変えることはなかなか難しいとすると、気付いたところは、今、発言を願いたいということか。

(事務局) パブリックコメントの後は、ご意見に対して修正する可能性もあるが、基本的なところは、変わることはないのご理解いただきたい。  
なお、意見は具体的にお願いしたい。計画改定案は、行政が作る計画であるが、反映できるところについては反映したい。

(藤倉委員) 諮問で求められたのは、今後5年間の施策展開の方向性などの基本的事項について、審議会の意見が求められた。だから、審議会は答申に責任を持ち、基本的な方向性を出した。そして、その責任があるのは審議会の委員である。

審議会からの答申を受けて、行政が作るのが計画改定案であり、計画をどうするかは、これから市と市民が考え、毎年作る廃棄物処理実施計画があるので、それはこの審議会にも意見を求められる。毎年我々も進行管理に関与するということ、また市民の代表である議会やパブリックコメントを経て、さらなる意見があると思われるから、審議会の責任は答申と理解すれば良い。

(松平委員) 千葉県ホームページには、令和3年の溶融スラグの有効利用率が88%と書いてあり、県をあげて徹底的に再利用している。もし相模原市が路盤材だけではなく、コンクリートブロックを作ったりすれば、最終処分場の利用年数は少し伸びると思う。最終処分場は、埋め終わ

った後も施設管理が未来永劫続くので、埋め終わったらグラウンドにすれば良いという訳では無いから、同じ場所に次の候補地というのは失礼と思う。思い切って、米軍の返還地に最終処分場を造ると言ったら皆びっくりする。そのぐらいの覚悟がないと、最終処分場の問題はなかなか進まない。同じ場所に造るのは勘弁なので、やはり痛み分けと書いてあるが、やるべきかなと思う。それから溶融スラグの有効活用は、ほぼリサイクルすることをご検討いただきたい。意見として述べさせていただきます。

(竹田会長) 藤倉委員の発言のとおり、これからも毎年、チェック機能があるので、気が付いたことがあれば、言っていただき、それを踏まえて改定するので、お願いしたい。

(中島委員) 計画改定案を充分読みきれていないので、多少時間をいただけないか。

(事務局) 皆様から計画改定案についてご意見をいただいているが、これから諮る庁議でも意見が出ることもあるので、今、ご意見をいただきたいと思います。

計画改定案の構成は大きく変えられないが、リード文の言い回しとか取組の修正や追加、訂正は可能なので対応したい。

(竹田会長) 大きな変更についてはもう無理ということである。

(中島委員) 大きな変更ができないということは了解した。私から言っている有料化、戸別収集はもう少し盛り込んで欲しい。また、ごみ集積場所についても、もう少し追加していただきたい。

(事務局) これまでもごみ集積場所についてご意見をいただき、実施事業に、新たにごみ排出ルールの遵守、高齢化や自治会加入率の低下が進む中、自治会や廃棄物減量等推進員と、これまでの協力という弱い表現から連携と修正し、ごみの適正排出というものも追加した。

また、行政の取組としては、ごみ・資源集積場所の設置、維持及び管理についての検討を追加し、強化する意思で改定に臨んでいる。

(中島委員) 私からの意見も取り入れてあることは重々承知しているが、集積場所を利用しての方が粗大ごみ等を捨てているわけではなく、通りすがりに捨てていく事例が多くあり、ごみ集積場所の問題としてかなり大きなものとの記載がないので、考えていただきたい。

(事務局) ごみの適正排出の中に、ごみ・資源集積場所のことも含まれている。もし、他にもご意見があれば、事務局で検討させていただきたいと思うので、来週までにいただきたい。

(松平委員) 全体を通して、ごみを減らすことには有料化や戸別収集があるが、根底が最終処分場がいっぱいになるからという理由になっている。  
本来、物は燃やしてはいけないというものが、この根底に流れている感じが無い。服のタグとか割りばしの袋には、紙製容器包装やリサイクルと書いてあり、これらを雑紙に出すという流れが、有料化や戸別収集にあるのかというところと違うと思う。やはり、燃やしてはいけない、これ以上地球温暖化を進めてはいけない、絶対ごみは燃やさない、燃やさなければいけないものだけを燃やすのだという精神を、この中に吹き込んでいただけたらありがたいと思う。

(栗岡委員) 市民の取組に、マイバッグとかレジ袋の削減がある。これでもごみは減ると思うが、最近新築の家では、庭を人工芝にしたり、量販店から買ってきた人工芝を、自転車の下に敷いたりする人が増えている。よって、市民の取組にプラスチック以外の素材を使用した製品の利用を、事業者の取組にプラスチック以外の素材を使用した製品の提供とした方がよい。環境負荷が高く使わないでよいものはできるだけ使わないというメッセージを盛り込んでほしい。

また、市の公園も人工芝化が進んでいるようで、張り替え時期になると、産業廃棄物として処分しなければならず、市でも人工芝などを使わない方がよいと思う。

(事務局) 検討させていただく。

(竹田会長) 今日委員から出された意見や、まだ意見をしたいものは、来週までにお願ひしたい。そのご意見等を踏まえて、行政が改定作業を進める。

#### 4 報告

(1) スプレー缶排出方法の変更について  
事務局から説明を行った。

#### 5 その他

(1) 一般廃棄物最終処分場愛称募集について  
事務局から説明を行った。

#### 6 閉会



## 相模原市廃棄物減量等推進審議会委員出欠席名簿

(五十音順・敬称略)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		欠席
2	石川 冬子	さがみはら消費者の会		出席
3	内田 勝久	神奈川県立学校長会議 相模原地区会議		出席
4	近江 良一	相模原商工会議所		出席
5	大久保 匡	相模原廃棄物対策協議会		出席
6	大河内 由美子	麻布大学		出席
7	落合 幸男	相模原市農業協同組合		出席
8	加賀谷 育子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら		出席
9	栗岡 理子	公募		出席
10	須藤 みね子	さがみはらリサイクル連絡会		出席
11	武井 俊長	津久井地域不法投棄防止協議会		欠席
12	竹田 幹夫	相模原市自治会連合会	会 長	出席
13	中島 勝平	相模原市自治会連合会		出席
14	原 正弘	神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会		欠席
15	藤倉 まなみ	桜美林大学	職務代理者	出席
16	堀川 伸晴	相模原市子ども会育成連絡協議会		出席
17	松平 和也	公募		出席
18	矢部 健	相模原地域連合		欠席
19	山田 とし子	相模女子大学		欠席